



放送大学東京足立学習センター機関誌

葦立

あしだち

【発行日】2025年9月30日

【発行】放送大学東京足立学習センター

〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5

学びピア21(6階)

TEL.03(5244)2760 FAX.03(5244)2762

【編集】葦立編集室



旧板垣邸

Contents

- 就任の挨拶／客員准教授 鈴木 陽子 2P
- 東京足立学習センター公開講演会 3P
- 2025年度第2学期 東京足立学習センター面接授業 4P
- 事務室からのお知らせ(教務関連)(総務関連) 6P

学習センターのウェブサイトはこちら ▶▶▶▶▶

パソコン・スマートフォン・タブレットから見るができます。ぜひチェックしてみてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/adachi/>

放送大学東京足立学習センター

検索



- 学習センターを利用する際の注意
- 面接授業を受講する際の注意、追加登録について
- 客員教員ゼミ、公開講演会のお知らせ

※社会情勢により、今後、東京足立学習センターで行われる面接授業、行事等の中止・変更の可能性があります。またお知らせには、左記のような重要な内容がありますので、ウェブサイトをごまめにご確認ください。

就任の挨拶

少子高齢化社会を支える様々な制度

放送大学東京足立学習センター客員准教授

鈴木 陽子



三菱UFJリサーチ&コンサルティングの政策研究事業本部社会政策部の鈴木陽子と申します。1992年4月に当時の三和総合研究所に入社し、主に、高齢者、こども、女性などをテーマに、官公庁や自治体などから調査研究を受託する事業に携わってまいりました。

少子高齢化が進む中、様々なニーズや課題に対応するために、新しく制度が作られたり、制度の改正が行われたりしていますが、受託調査に携わる中で、その趣旨や目的とともに内容を知り、理解することの大切さを感じています。

入社した当時は、例えば、高齢者の介護に関わる制度は措置制度でしたが、その後、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして介護保険制度が導入され、自立支援や利用者本位のもと、様々なサービス、仕組みが構築されていきました。また、こども・子育てや両立支援に関して、例えば、保育については保護者が就労している場合に保育に欠けるこどもを保育所で預かる、また、職場での両立支援制度は仕事と育児の両立を支援するといった視点からの制度や取組が推進されていましたが、現在は、専業主婦(夫)の家庭も含め、すべてのこどもや子育て家庭を支援していくために、また、こども真ん中を掲げて、施策が展開されています。両立支援も育児に限らず、介護との両立や、地域活動、自身の時間、健康など、個々の状況や希望に応じた生活全体のバランスをとることができるよう、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革等の取組が推進されています。

政策や制度が時代とともに新しく創出されたり、改定されていく過程では、対象となる方々を対象としたニーズや実態の把握、制度を支える事業者、団体、企業等の方々を対象とした実態や課題の把握などを行ったり、官公庁や自治体の担当者、学識経験者、関係する団体・事業者・企業や支援者、制度対象となる当事者など、多くの方々による議論、検討が重ねられています。

人口は減少に転じ、少子高齢化がさらに進んでいくことが予想されています。社会の大きな転換期にある中、こども・子育て、高齢者・介護、仕事・キャリア形成などに関する、私たちの生活に身近な制度に焦点をあてながら、制度やその背景となる社会課題等へ理解を深めるとともに、これからの社会にどのような制度があったらよいか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

東京足立学習センター公開講演会

令和7年8月2日(土)、9月7日(日)に、学びピア21で公開講演会を実施いたしました。
2回の講演会で合わせて200名近い参加者に恵まれ大変ご好評をいただきました。



「ペットロスに寄り添う」

令和7年 **8月2日(土)** 13:30~15:30

【講師】濱野佐代子 (日本獣医生命科学大学教授)

当センター客員教員であり、日本獣医生命科学大学教授でいらっしゃる濱野先生が、ペットロスの悲しみから回復へのプロセス、グリーフケア(悲しみに寄り添いサポートする)について、ペットロス研究の知見やカウンセリング経験をもとに分かりやすく解説されました。放送大学生以外の一般の方も多く参加されて、講演後は活発な質疑応答が交わされました。

放送大学東京足立学習センター公開講演会

ペットロスに寄り添う

ペットは家族の一員として共に暮らしています。本講演では、ペットとの別、愛情を注いでいるペットを失ったときの深い悲しみ「ペットロス」について取り上げます。

ペットロスの悲しみから回復へのプロセス、グリーフケア(悲しみに寄り添いサポートする)について、ペットロス研究の知見やカウンセリング経験をもとに分かりやすく解説します。ペットとの別れを乗り越えられた方、克服したいと考える方、この分野に関心ある方にぜひ参加ください。

日時: 2025年8月2日(土) 13:30~15:30

講師: 濱野 佐代子先生
日本獣医生命科学大学教授
放送大学客員教授

【場所】 学びピア21 4階 講堂
【対象】 放送大学生・一般の方
【定員】 150名(先着順)
【受講料】 無料
【開催】 足立区生涯学習センター
【申込】 東京足立学習センター事務局
TEL 03-5244-2760 又は
下のQRコードにて

◆講演は、都合により変更又は中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

放送大学

「疲れた脳をやさしくいたわり、毎日をもっと元気に! ~脳科学が教えるシンプルな休ませ方~」

令和7年 **9月7日(日)** 13:30~15:30

【講師】毛内 拓 (お茶の水女子大学助教)

国立大学法人お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系助教で、専門の脳神経科学、神経生理学に関する多数の著書を上梓されている毛内拓先生が「脳疲労」について語られました。脳という「臓器」がどんな風に働いているかをやさしく解説し、最新の研究からわかった「毎日すぐにできる脳の休ませ方」「頭の回転を長持ちさせるコツ」を具体的に紹介。

猛暑の中、会場をほぼ埋め尽くすほどの受講者が集い、熱心に聴き入っていました。

放送大学東京足立学習センター公開講演会

疲れた脳をやさしくいたわり、毎日をもっと元気に! ~脳科学が教えるシンプルな休ませ方~

私たちの脳は、ときにムダを省いてエネルギーを節約しようとする「セーブ」があります。そのおかげで日々の生活はスムーズになりますが、使いすぎると「脳疲労」を招き、気力や集中力が落ちてしまいます。この講演では、難しい「心」という言葉はひとまず忘れて、脳という「臓器」がどんな風に働いているかをやさしく解説します。そして、最新の研究からわかった「毎日すぐにできる脳の休ませ方」「頭の回転を長持ちさせるコツ」を具体的に紹介します。

日時: 2025年9月7日(日) 13:30~15:30

講師: 毛内 拓先生
お茶の水女子大学助教

【場所】 学びピア21 4階 講堂
【対象】 放送大学生・一般の方
【定員】 150名(先着順)
【受講料】 無料
【開催】 足立区生涯学習センター
【申込】 東京足立学習センター事務局
TEL 03-5244-2760 又は
下のQRコードよりお申込みください。

◆講演は、都合により変更又は中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

放送大学

令和8年2月に、例年開催している歌舞伎をテーマとした公開講演会を開催する予定です。12月以降にホームページにて詳細を公開いたします。

面接授業は、学習センターなどで他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。定員に空席がある授業のみ追加登録を行うことが可能です。

10月17日(金)15時以降、システムWAKABAで随時空席状況を確認できます。

2672596	現代世界の戦争と平和	10/18-10/19	小林 誠
2668769	心理学実験1	10/18-10/19	梶原 直樹
2672138	記録メディアの収集保存	10/18-10/19	溝上 智恵子
2672790	生と死に寄りそうー死生学の試み	10/18-10/25	増田 琴
2672910	健康を支える細胞	10/18-10/19	宮本 泰則
2672944	科学技術の失敗を考える	10/21-10/28	寿楽 浩太
2672618	クラシック音楽鑑賞へのいざない	10/25-10/26	西村 祐
2672677	植物生理学入門	10/25-10/26	加藤美砂子
2672804	しきたりの民俗学	10/25-10/26	宮内 貴久
2672928	微粒子の気候影響	10/25-10/26	森 大樹
2672545	続・韓国語初級	10/31-11/14	李 世珍
2672685	臨海生物リアル体験	10/31-11/02	最上 善広 他
2668777	心理学実験2	11/01-11/02	園田 明人
2672740	犯罪臨床心理学	11/02-11/09	佐々木 彩子
2672952	荒川流域の環境と保全・管理	11/06-11/13	藤野 毅
2672600	少子高齢社会を支える身近な制度	11/08-11/15	鈴木 陽子
2672626	ジェンダー文化論入門	11/08-11/09	棚橋 訓
2672669	パソコン基礎講座	11/08-11/09	佐野 仁美
2672715	健康関連体力	11/08-11/15	船渡 和男
2668777	心理学実験2	11/08-11/09	増田 早哉子
2672812	フランス文学とキリスト教	11/09-11/16	田中 琢三
2672537	パソコン活用術	11/14-11/16	齋藤 文
2672553	中国語初級編	11/14-11/16	宮島 和也
2672570	食べ物の科学の基本	11/14-11/15	村田 容常
2672820	多和田葉子の文学	11/15-11/16	谷口 幸代
2672880	プログラミング言語各種詰め合せ	11/15-11/16	中野 由章
2672839	キリスト教音楽入門	11/20-11/21	永原 恵三
2672847	歌舞伎を極める	11/28-11/29	小玉 祥子
2672693	基本統計学ー理論と分析実習ー	11/29-11/30	大谷 洋貴
2672723	老年社会学	11/29-11/30	森 嵩由紀子
2672758	セラピストとして考えること	11/29-11/30	丸山 広人
2672960	国際ビジネス(M&A入門)	11/29-11/30	山田 敬重
2672561	英語再入門	11/30-12/07	吉川 純子
2672588	人とペットの関係の心理学	12/04-12/05	濱野 佐代子
2672936	生物に学ぶものづくり	12/05-12/06	藤川 太郎 他
2672855	鎌倉時代の古文書を読む6	12/05-12/26	近藤 成一
2668793	心理学実験3	12/06-12/07	生駒 忍
2672766	人間発達の心理学	12/06-12/13	韓 雪
2672898	遊びを通して学ぶ情報科学	12/06-12/07	中野 由章
2672774	臨床心理学実習B	12/07-12/14	越智 栄太
2672863	ドイツ・ナチズムとホロコースト	12/11-12/12	穴山 朝子
2672669	パソコン基礎講座	12/13-12/14	佐野 仁美
2668793	心理学実験3	12/13-12/14	生駒 忍
2672782	臨床心理学実習C	12/13-12/14	小林 由季
2672634	ひと味違う音楽の楽しみ方	12/13-12/14	西村 祐
2672642	演劇とアメリカ文化	12/20-12/21	松本 美千代
2672650	身近な日本語を深く学ぼう	12/20-12/27	星野 祐子
2672707	小さな素粒子、大きな宇宙	12/20-12/21	曹 基哲
2672871	平安時代前期の政治と文化	12/20-12/21	古瀬 奈津子
2672901	POV-Rayプログラミング	12/20-12/21	鈴木 一史
2672731	現代の食生活の課題と対策	12/27-12/28	福留 奈美

2025年度 第2学期面接授業科目の紹介

第2学期に開講する面接授業の中から3科目を紹介します。

1 【科目区分】 導入・生活と福祉

《科目名》 食べ物の科学の基本

(定員40名)

《日 程》11月14日・15日 《講 師》村田 容常

●授業内容

我々は栄養素的にみるとどのような食生活になっているのでしょうか。食生活の現状を振り返った後、ヒトはなぜ食べるのかを自然科学的に考えます。この授業では食べ物の基本を科学的な視点から学びます。食品成分と栄養素、おいしさと栄養、成分の化学、加工や貯蔵による物質変化、食品の安全性の基本などを学びます。

●学生へのメッセージ

食べ物の基本を自然科学的に学びます。化学と生物学を使います。小試験を2回(初日、2日目)行います。

2 【科目区分】 専門・社会と産業

《科目名》 記録メディアの収集保存

(定員40名)

《日 程》10月18日・19日 《講 師》溝上 智恵子

●授業内容

知識情報基盤としての記録メディアの変遷について学びます。記録メディアを収集・保存して知識の組織化を図ってきた図書館の歴史も併せて学びます。まず、粘土板やパピルスといった古代のメディアから、羊皮紙、活版印刷等に至るまでの記録メディアを概観し、続いて古代から近代に及ぶ図書館の歩みを、記録メディアの収集と保存の観点から学びます。講義では一部映像資料も使う予定です。

●学生へのメッセージ

身近な社会教育施設である図書館を「記録メディアの収集と保存」という視点で捉え直すことで、新たな側面を発見してください。なお、テーマによっては、予定回の次の回も延長して扱うことがあります。

3 【科目区分】 総合科目

《科目名》 荒川流域の環境と保全・管理

(定員40名)

《日 程》11月6日・13日 《講 師》藤野 毅

●授業内容

荒川は秩父山地から発し首都圏域に注ぐ、治水と利水の上で極めて重要な河川です。同時に荒川流域の自然環境は私たち人類の生活基盤であり、これを守っていく必要があります。本科目は、「荒川中流域」を対象に、i)治水の変遷、ii)自然再生事業、iii)市民・行政の保全活動、iv)水質状況を概説します。最後に私たちが荒川流域とどのように関わっていくべきか、現在の都市・環境問題を背景に考えていきます。

●学生へのメッセージ

様々な視点から荒川を見つめます。治水事業と自然再生事業について紹介し、私たちが荒川流域とどのように向き合うかを考える機会となれば幸いです。最後にレポートを書いて頂きます。

事務室からのお知らせ

【教務関連】

通信指導について

● 通信指導とは？…… 学期の途中に提出しなければならない中間試験のようなものです。

放送授業と一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。

通信指導の結果により、単位認定試験の受験資格を得ることができます。
未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、評価対象とはなりませんのでご注意ください。

問題は、システムWAKABAの「授業サポート→授業共有ファイル」にて10月上旬より確認できます。2024年度第2学期より、原則Web通信指導による提出(郵送提出科目を除く)となりましたので、問題冊子の送付はありません。

提出期間 【Web通信指導】 11月6日(木) 10:00～11月26日(水) 17:00

【郵便】 11月12日(水)～11月26日(水) 《大学本部必着》

(提出期限を過ぎると受理されませんので余裕を持って提出してください。)

**添削結果
返送時期**

2026年1月上旬

《添削結果が以下の末着期限までに届かない場合は、大学本部にお問い合わせください。》

① 択一式科目(併用式科目の択一部分)…… 1月8日(木)

② 記述式科目(併用式科目の記述部分)…… 1月14日(水)

面接授業について ※教養学部のみ

● 面接授業とは？

放送大学では、全国の学習センター等において年間約3,000科目の「面接授業(スクーリング)」を実施しています。面接授業は、直接教員から指導を受ける機会として重要であるばかりではなく、学生同士の交流・啓発の場としても広くご活用いただいております。

全科履修生は、卒業要件として、面接授業(またはオンライン授業)の単位を20単位以上修得する必要があります。選科履修生・科目履修生の方は必修ではありませんが、ご自身の学習したい内容に合わせて面接授業を受講することができます。(面接授業は1科目1単位です。)

— 2025年度第2学期面接授業追加登録について —

科目登録決定後に空席のある科目については、追加登録期間中に科目の登録を追加することができます。追加登録申請は、授業を開講する学習センターごとに受付を行います。詳細は各センターのHPでご確認ください。

追加登録
日程

空席発表

10月17日(金) 15時

空席状況は放送大学ホームページと
学習センター掲示板等でお知らせします。

登録期間

10月23日(木)～科目ごとに定められた受付期日まで

10月23日(木) 15時以降、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認できます。

BYOD 一自分用パソコン持ち込み方式の面接授業について

2024年度第1学期より、パソコンの持参が必須の面接授業(BYOD方式 — 他センターで開講するものも含む。)で、授業中にインターネットへの接続が必要な際は、必ず受講前に各自がWi-Fi利用の手続きをしてください。対象科目及び申請方法については、「面接授業ウェブサイト」→「令和7年度(2025年度)第2学期面接授業」の「BYOD・Wi-Fi一自分用パソコン持ち込み方式について」からご確認ください。

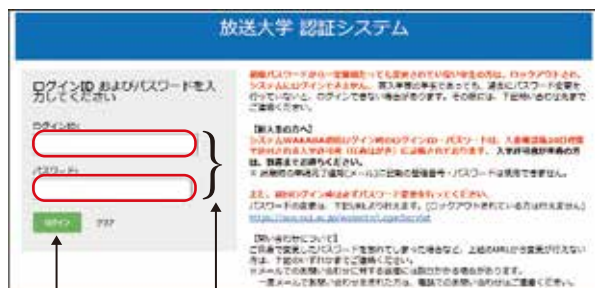
システムWAKABAに入ってみよう

●大学ホームページから

在学生(WAKABA)をクリック



●次の画面になる



ログインをクリック

入学許可書に記載の
「ログインID(学生番号)*1」、
「パスワード*2」を入力する

※1 ハイフンは除く10ケタ

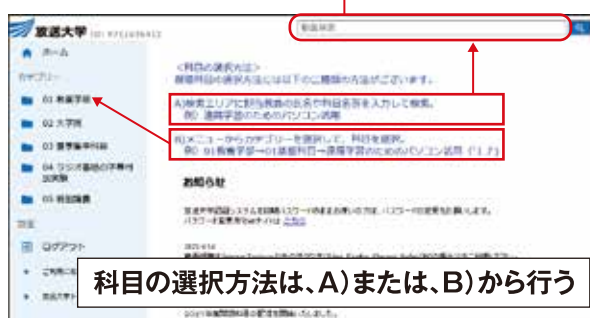
※2 新入生は、まずパスワード変更が必要です。
画面左側の初期パスワード変更URLから
変更してから、ログインしてください。

放送授業をインターネットでみる

●システムWAKABAに入ったら、 右の欄「学内リンク」から、



「放送授業のインターネット配信」
をクリックする



科目の選択方法は、A)または、B)から行う

●B)メニューからカテゴリーを選択して、 科目を選択する場合

例えば、教養学部の「教育社会学概論'19」の
科目を視聴したい時



①「01教養学部」
をクリックする。

②社会教育学概論('19)は、心理と教育コースの 科目だから、「04心理と教育コース」をクリック



③「01社会教育学概論('19)」をクリックする。



④見たい回をクリックする

【総務関連】

●開所日・閉所日(窓口・電話)について

東京足立学習センター
ウェブサイト



時 期	開 所 日	閉 所 日	事務室窓口・電話受付
4－ 6月 10－12月	水曜日～日曜日	毎週月曜・火曜 祝日	9:30～17:30 ※12:00～13:00は窓口閉室します。 電話もつながりません。 ご注意ください。
7－ 9月 1－ 3月	火曜日～土曜日	毎週日曜・月曜 祝日	

【注意】月によって開所日が異なりますのでご注意ください。また年末年始、臨時閉所日があります。電話やホームページ等で確認してください。
スケジュールは変更することもありますので、随時センターホームページで確認してください。

●学生証の交付・更新について

図書室・視聴学習室の利用の際には学生証が必要です。学生証は入学日以降に窓口での受け取り、または、郵送での受け取りができます。※状況により変更することがありますので、当センターHPをご確認ください。

窓口での受け取り

入学許可書または、有効期限切れの学生証をお持ちください。

郵送での受け取り

任意様式に氏名、学生番号、電話番号を記入の上、下記(3点)を同封して、東京足立学習センター宛てに郵送してください。

- 入学許可書のコピーまたは、有効期限切れの学生証
- 身分証明書のコピー(顔写真付きのもの) ※有効期限切れの学生証同封の場合は不要
- 返信用封筒(宛先を明記の上、320円分の切手を貼付)

●各種手続きについて

各種手続きについては、「学生生活の栞」をお読みにになり、それぞれ期限内に行ってください。
「学生生活の栞」巻末に諸様式があり、手続き方法も記載されています。
また各種届出・申請様式は、システムWAKABAからダウンロードできます。
学生各自でWAKABAから手続きできるもの、本部で手続きするもの、学習センター窓口で手続きするものなど申請先が異なります。

システム
WAKABA



システムWAKABAから出来る主な申請	所属学習センター変更、氏名・住所変更、 休復学等願 等
学習センターを通して手続きする主な申請	学生証発行、各種証明書発行、学割証発行 等

※証明書の交付手続きについて

学力に関する証明書など、申請から発行まで2週間ほどかかるものがあります。各期限を確認して余裕を持って手続きして下さい。お急ぎの場合は、事前に所属する学習センターにご相談ください。